



自分で探しに行くのではなく本が来るため歩き回らないので、人との接触がすくない。

回転図書館とは、各種の本を載せた箱を利用者席沿いに設置されたレーン上に連続してして循環させ、利用者が本を自由に選択する、半セルフサービス型の図書館の形態。

利用席では、タブレットで検索、検索した本はファストレーンで回転してくる。 AIは、チャットボットという形で図書館でも利用されている。

- 1 本が回ってくる 自分で探し回らない2 タブレットで検索 本がファーストレーンで回ってくる3 返却は、利用席の返却口または、AIチャットボット利用で貸し出す